

## レバーハンドルの位置が正常でない時

ノブ（レバーハンドル）に『こじ開け防止・安全装置機能』がついています。

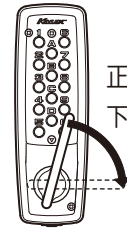
記憶ボタン操作をせず強引にレバーハンドル操作をすると、内部機構保護のため安全装置が作動し、レバーハンドルが空転して、上（下）位置でとまります。故障ではありません。



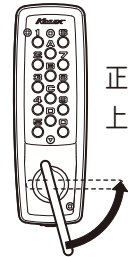
レバーハンドルの  
正常な位置

レバーハンドルの位置が  
右図になった時は  
正常な位置に戻します。

レバーの正常な位置が  
反対向きの時は、戻す  
向きも反対です。



正常な位置まで  
下げ戻す



正常な位置まで  
上げ戻す

本図はKL2100（KL1100も同様です）

## 記憶番号設定に関するご注意

- KL2100, 1100 は 1 ～ 14 桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は自由です。順番は指定できません。  
例) 記憶番号 1・2・3 の場合  
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。（同じボタンを 2 度押しする設定はできません）  
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。



## 注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付時の注意
  - 各部取付ねじの締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。
- 取付ねじのゆるみ
  - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為に定期的に増し締めしてください。
- 受座の飛び出し
  - 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。
- 他の用途への使用
  - ノブ（レバー）にぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意  
（故障の原因となります）
  - 製品の分解、改造はしないでください。
  - デッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。
  - ボタンを押しながら、ノブ（レバー）の操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
  - 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
  - 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。



# KEYLEX<sup>®</sup> 2100 1100

KL2100 KL1100  
自動施錠  
両面ボタンタイプ

## 取扱説明書（施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。  
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。

22443  
22443M  
22463  
22463M

22643  
22643M  
22663  
22663M

防犯上、定期的に記憶番号の変更をされますようおすすめ致します。

＜ 記 憶 番 号 の 記 録 ＞		
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
ただ今の記憶番号		

NAGA  
SAWA

www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811（代） 福岡出張所 TEL. 092-524-7031（代）  
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032  
大阪支店 TEL. 06-6783-5091（代）  
FAX. 06-6783-5092

ドアの吊り下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

## 基本操作

ご使用前に確認してください。

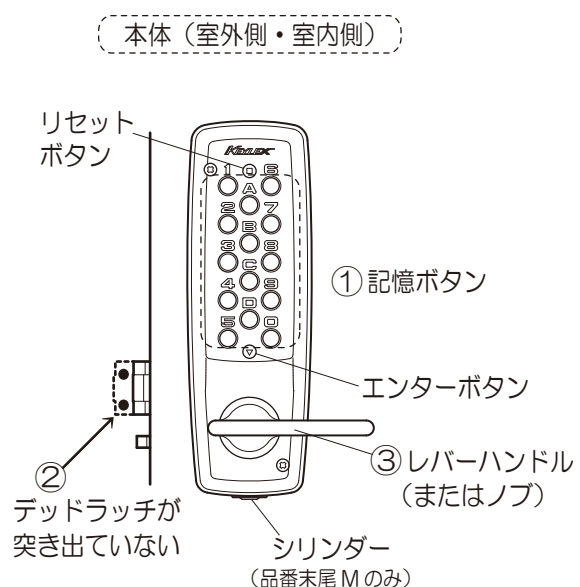
- ① 登録している記憶番号。
- ② 錠のデッドラッチの赤丸が見えない。  
(見えている場合は、レバー(ノブ)を操作して、デッドラッチを正常位置に戻す)
- ③ レバーハンドルの場合は真横になっている。  
(真横になっていない場合は、4ページの  
レバーハンドルの位置が正常でない時を参照)

解錠：リセットボタンを押す(誤操作の記憶番号を解除)  
現在の記憶番号を押す。エンターボタンを押す。  
レバー(ノブ)操作で開扉できます。  
※ボタンを押しながらのレバー(ノブ)操作はしないでください。

※鍵付タイプ(品番末尾 M)の場合は、記憶ボタン操作の代わりにキー操作でも開扉できます。

- I：キーをシリンダーに入れ回す。  
(デッドラッチのみが引き込まれる)
- II：キーを回したまま(戻さずに)、  
レバー(ノブ)を引いて(外開き時)開扉する。

施錠：扉を閉めると施錠されます。



本図はKL2100 (KL1100 も同様です)

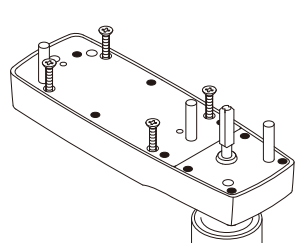
## 記憶番号の変更方法 扉から取り外して記憶番号の変更をします

④ 室外側本体・⑤ 室内側本体それぞれに、記憶番号が設定できます。

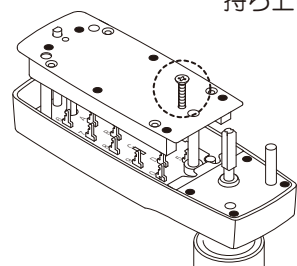
I：本体表側のリセットボタンを押す。  
⑨まで記憶ボタンは押さないでください。

リセットボタンを押さないと、内部部品が破損する場合があります。必ず押してください。

II：本体裏のねじ4本をはずす。  
(赤色ねじははずさない)

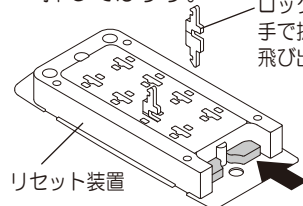


III：ねじを下図の位置に入れ持ち上げる。

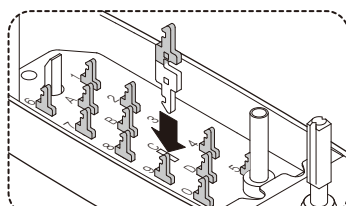


IV：リセット装置にロック板が残った場合、灰色部を矢印方向に押しはずす。

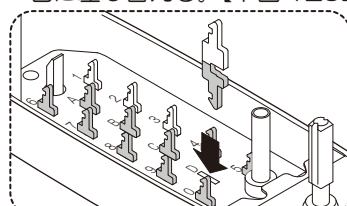
ロック板は手で抜かない飛び出しに注意



V：今までの記憶番号を消す：白色のロック板を赤色に差し替える。

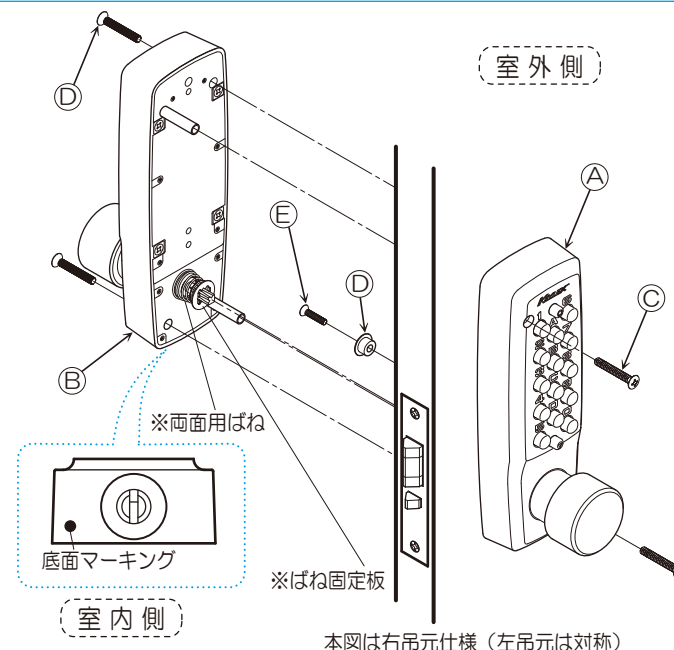


VI：新規記憶番号をセット：新しく記憶させる番号のロック板を白色に差し替える。【下図 123D】



- ⑦ 新しい記憶番号を必ず登録します。1 ページに記入欄があります。
- ⑧ リセットボタン + 新しい記憶番号 + エンターボタンを押す、ノブ(レバー)が解錠方向に回ることを確認します。
- ⑨ 取り付けと、作動確認(取付説明書参照)をします。

## 取り外し方法



本図は右吊元仕様(左吊元は対称)

※：④ 室外側本体は仮止めされています。

I：本体底面を確認し、④ 室外側本体(底面マーキングなし)側の  
⑤ 本体固定ねじ2本を外します。

II：⑤ 室内側本体(底面マーキングあり)の落下に注意しながら  
⑥ 室内側本体(底面マーキングあり)側の ⑤ 本体固定ねじ2本を外します。

III：⑥ 室内側本体(底面マーキングあり)を扉から外します。

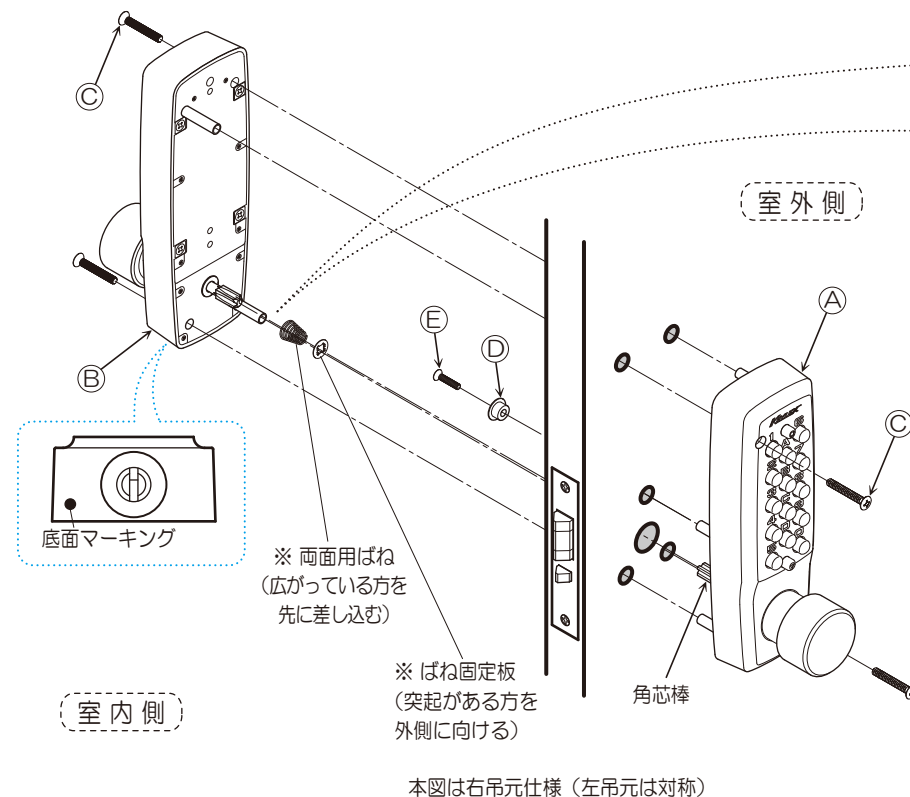
IV：④ 室外側本体(底面マーキングなし)の落下に注意しながら  
⑥ 本体仮止めねじ、⑦ 両面用ねじ受けを外し

④ 室外側本体(底面マーキングなし)を外します。

※：扉厚 40 mm 以上の本体には、角芯棒に角芯棒軸パーツ  
(両面用ばね・ばね固定板)が取り付けられています。

角芯棒軸パーツは、本体取付時に、角芯棒の垂れ下がりを防ぎ、取り付けしやすくするための部品です。記憶番号変更時などで、角芯棒軸パーツを紛失しても、そのまま扉へ取り付けられます。キーレックスの性能には支障はありません。

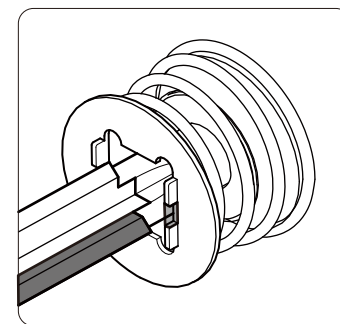
## 取付方法



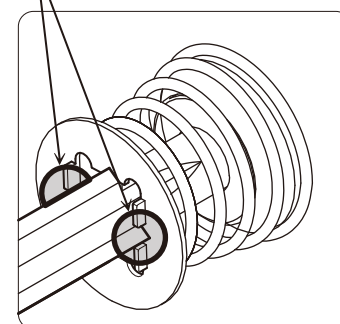
本図は右吊元仕様(左吊元は対称)

角芯棒軸パーツの取付方法(扉厚 40 mm 以上)  
ばね固定板の位置を調整する

- ① ばね固定板を角芯棒の根元まで押し込み、  
ばね固定板を45度回転させて  
ばね固定板の突起と突起の間 ■ に  
角芯棒の角 ■ をセットする。



- ② ばね固定板を動かしながら位置を調整し、  
ばね固定板の突起と突起の間、  
対角2か所それぞれに角芯棒の角が  
嵌め込まれているのを確認する。



※ 鍵付タイプでは、キーを抜いた状態でセットします。

I：室外側に、④ 室外側本体(裏側パイプねじ3本・底面マーキングなし)をセットし、  
⑦ 両面用ねじ受けと、⑧ 本体仮止めねじで固定します。

II：室内側に、⑤ 室内側本体(裏側パイプねじ2本・底面マーキングあり)をセットし、  
⑤ 本体固定ねじ2本で、⑥ 室内側本体を固定します。

III：⑤ 本体固定ねじ2本で、④ 室外側本体を固定します。扉を閉める前に作動確認  
(取付説明書参照)をしてください。